

2学期も大変お世話になりました

今日で2学期が終了となりました。夏から冬にかけて、子どもたちは79日間という長い期間を、様々な学習や体験を行いながら過ごしてきました。今学期は、去年の同じ時期に比べ新型コロナウイルスへの警戒度も緩和され、学校にも徐々に例年の生活が戻ってきました。昨日は、体育館で、体育委員会の子どもたちによる「持久走カード努力賞」の表彰や、奥多野の小・中・高校5校の代表者が集まって行われた



体育委員会の子どもたちによる表彰

「いじめ防止サミット」の活動報告が児童会から行われました。基本的な感染症対策は欠かせないものの、12月は、読み聞かせ、持久走大会、授業参観、書き初め練習会、保小合同避難訓練、郷土食作り、おにぎりパーティーなど、保護者の方々や地域の方々、講師の方と一緒に活動ができました。子どもたちに関わる多くの方々と一緒に、子どもたちの頑張りや成長を感じられたことを、幸せなことと改めて感じました。今学期も大変お世話になりました。ありがとうございました。学年のまとめとなる3学期も多くの場でお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

練習に練習を積んで臨んだ「持久走大会」

12月3日(金)、校内持久走大会が行われました。校庭でのウォーミングアップの時から子どもたちの間には、「よし、本番だ!」というやる気と本番直前のドキドキとした緊張感が漂っていました。国道を渡りコースに到着した時には、緊張感も最高潮です。そして大会開始。スタートラインに立つ引き締まった顔、コースを見つめる真剣なまなざし、応援の声、スタート合図を前にした一瞬の静けさ。本番のピストルが鳴ると、子どもたちが一斉に駆け出してきました。走るのが得意な子もいれば、苦手だと思っている子もいます。しかし、どの子も



真剣、どの子もカー杯の走りです。この日に向けて、朝早く学校に来て走り続けた子がいました。休み時間に友達と励まし合いながら走る子もいました。放課後にも校庭を走ってから帰る子もいました。学校中のみんなが、たくさんの練習を積み重ねてきました。その成果が、ゴールを目指して懸命に走る姿に表れていました。子どもたちの姿にたくましさを感じた持久走大会となりました。大会へ向けて励まし続けてくださった保護者の皆様、応援に駆けつけてくださった皆様、駐在・交通指導員の皆様、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

1人1台のタブレットを活用した授業が進んでいます

昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、休校や行事の中止等、不自由な生活が続く中、子どもたちの学びを止めないため、また、全ての子どもたちの可能性を引き出すために、1人1台ずつのタブレットが整備されました。上野小学校でも、現在、授業や集会等、多くの場でタブレットが使われています。そのいくつかを紹介します。



万場小の6年生と一緒に授業



自宅と教室をつないだ授業



情報交換しながら理解を深める授業

	曜	1月の主な予定
7	金	始業式 書き初め大会 健康カレンダー配布 集団下校 14:00
8	土	
9	日	
10	月	成人の日
11	火	
12	水	朝礼(任命式)
13	木	健康カレンダー回収 3年生社会科見学
14	金	身体測定 視力検査(6年生、1年生)
15	土	家読の日 高反教室
16	日	
17	月	職員会議 視力検査(2年生、3年生) 集団下校 15:00
18	火	視力検査(4年生、5年生)
19	水	体育集会
20	木	花まる学習会
21	金	かじかの里学園体験入学
22	土	
23	日	
24	月	職員研修日 集団下校 15:00
25	火	
26	水	縦割り班遊び スクールカウンセラー来校
27	木	
28	金	学カテスト(国語、算数)
29	土	
30	日	
31	月	

この他にもタブレットは、調べたい内容を自分に合ったペースで深く調べていったり、課題が早く終わった子が、自分に合った練習問題に取り組んだり、授業の多くの場で活用されています。